

第三セクター情報公開シートI (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 令和元年6月6日

市所管部署 石巻市 産業部観光課

2 法人名称等

法人名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
法人所在地	石巻市渡波字大森30番地2
設立年月日	平成4年1月22日
代表者職・氏名	代表理事 一力雅彦

設立目的・経過

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与すること。

3 定款上の事業内容

- (1) 慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
- (2) 慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
- (3) 船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
- (4) 海事思想の普及・啓蒙
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の者の出資・出捐額	市以外の者の出資・出捐割合
1,000,000 千円	500,000 千円	50.0 %	宮城県	500,000 千円	50.0 %
				千円	0.0 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	H28期末	H29期末	H30期末
常勤			
うち市職員			
うち市退職者			
非常勤	9	11	11
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	1	1	1
計	9	11	11
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	1	1	1

(2) 職員の状況

	H28期末	H29期末	H30期末
常勤	10	10	9
うち市職員			
うち市退職者	1	1	1
非常勤	9	9	9
うち市職員			
うち市退職者			
計	19	19	18
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供する事より、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する事を目的とする。
①慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
②慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
③船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
④海事思想の普及・啓蒙
⑤宮城県の指定を受けて行う慶長遣欧使節船ミュージアムの管理運営
⑥石巻市の指定を受けて行うサン・ファン・バウティスタパークの管理運営
⑦その他この法人の目的を達成するためにの必要事項

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度期	令和3年度期	
慶長遣欧使節 ミュージアム 入館料	円	目標 計画	6,250,000	6,669,000	7,220,000	7,220,000	7,220,000	
目標・指標の説明		平成28年3月から復元船への乗船見学中止となり入館者数が大幅に減少したことから、平成29年度より、展望棟ロビーにおける伊達の黒船建造記録」や「東日本大震災資料」等の展示を実施、平成30年度は、進水25周年記念イベントの開催、スマホWEBサイトの充実、VRコンテンツの制作等を行った。令和元年度及び次年度は現復元船ファイナライベントの成功と誘客に務める。						
目標未達の場合の要因分析								
目標項目・指標	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度期	令和3年度期	
慶長遣欧使節 ミュージアム 入館者数	人	目標 計画	30,000	32,000	32,000	32,000	32,000	
目標・指標の説明		平成28年3月から復元船への乗船見学中止となり入館者数が大幅に減少したことから、平成29年度より、展望棟ロビーにおける伊達の黒船建造記録」や「東日本大震災資料」等の展示を実施、平成30年度は、進水25周年記念イベントの開催、スマホWEBサイトの充実、VRコンテンツの制作等を行った。令和元年度及び次年度は現復元船ファイナライベントの成功と誘客に務める。						
目標未達の場合の要因分析								

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①第24回サン・ファン祭り ②サン・ファンライトアップ及びイルミネーションツリー ③新規：出帆記念イベント ④市民団体による各種イベントの実施	①市民団体手作りのサン・ファン祭りに15,000人が来場 ②11月から翌年初までイルミネーションツリーを実施。夜間特別開館に約363人が来館 ③落語やお笑いショー、時代の遊びなど参加型の出帆記念イベントに1,474人が参加 ④恒例となった「渡波市民夏祭り」や「石恋まつり」など市民参加型のイベントに貸出した。	石巻三大祭りの一つ「サン・ファン祭り」や年末の「イルミネーションツリー」の実施及び地域住民でづくりの「渡波市民夏祭り」さらに震災後定着した「石恋まつり」など復興関連イベントの会場としてサン・ファンパークを貸し出し、多くの来場者に慶長使節の意義と県民共有の財産である復元船のPRに努めた。	①市民団体手作りのサン・ファン祭りに12,000人が来場（前夜祭の中止） ②12月中旬から年末までイルミネーションツリーを実施し約460人が見学 ③講演会や江戸時代の遊びなど市民参加型の出帆記念イベントに417人が参加 ④恒例となった「渡波市民夏祭り」や「復興グランプリF-1大会」など市民参加型のイベントに貸出した。
事業の公共性、公益性	平成28年度から復元船の老朽化等に伴い乗船見学を禁止したことにより施設の展示内容が大幅に減少したことから、展望棟ロビーを活用した展示拡充や隣接するサン・ファン・バウティスタパークでの各種イベント事業により集客を図りPRに努めた。		

第三セクター情報公開シートI (PDCAサイクルシート)

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①進水25周年記念シンポジウム「海と空とサン・ファン号」を開催 ②進水25周年記念企画展「サン・ファン館寄贈資料展」 ③館長歴史講座の開催 ④絵画コンクール、絵画教室の開催 ⑤体験学習の開催	①牡鹿・石巻の観光をテーマとしたシンポジウムを開催した ②これまで当ミュージアムに寄贈された帆船模型等を展示した ③館長歴史講座「伊達の文化と慶長使節」を月1回計5回開催した ④第3回絵画教室を開催した。 また第10回絵画コンクールに多くの応募(68点)があった。 ⑤体験学習「海に集い、船に学び、木の文化を知る」を開催し698人が参加	①海洋冒険家「今給黎教子」氏を招き記念講演・パネルディスカッションを行い観光振興への理解を深めた。 ②帆船模型や絵画の資料を展示し帆船に対する理解を深めた。 ③「サン・ファン・バウティスタ」が創り上げた世界について講演し慶長使節の啓蒙を図った。 ④絵画教室と連携したコンクールを開催し児童生徒に慶長使節の意義を学んでもらった。 ⑤親子を対象に「ロープワーク」と「カンナがけ体験」を実施し帆船文化や木造船文化に親しんでもらった。	①政宗が進めた国づくりや国際交流をテーマとした企画展を開催 ②館長歴史講座「伊達の文化と慶長使節」を月1回計5回開催 ③第2回絵画教室を開催した。 また第9回絵画コンクールに多くの応募(59点)があった。 ④体験学習「海に集い、船に学び、木の文化を知る」を開催し553人が参加
事業の公共性、公益性	慶長使節の派遣目的が我が国初の外交使節であるとの史実に加え、使節派遣の2年前に仙台藩を襲った「慶長の大津波」からの復興もその要因の一つではないかと考えられることから、復元船を震災復興のシンボルとして位置付け展示を実施し普及・啓蒙に努めた。		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートII (財務諸表等)

団体名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
------	-----------------

1 財務諸表 (金額単位:千円)

貸借 対照 表 (B / S)	借方 (科目)	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
	流動資産	108,544	109,543	999	117,536	7,993
	うち 現金・預金	106,385	107,911	1,526	115,579	7,668
	固定資産	1,123,660	1,144,143	20,483	1,164,487	20,344
	(1) 基本財産	1,114,872	1,137,775	22,903	1,157,909	20,134
	(2) 特定資産			0		0
	(3) その他の固定資産	8,788	6,368	▲ 2,420	6,578	210
	資産の合計	1,232,204	1,253,686	21,482	1,282,023	28,337
	貸方 (科目)	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
	流動負債	13,776	13,604	▲ 172	28,625	15,021
うち 短期借入金				0		0
固定負債				0		0
うち 長期借入金				0		0
負債合計	13,776	13,604	▲ 172	28,625	15,021	
正味財産	1,218,428	1,240,082	21,654	1,253,398	13,316	
指定正味財産	1,114,872	1,137,775	22,903	1,157,909	20,134	
うち 基本財産への充当額	1,114,872	1,137,775	22,903	1,157,909	20,134	
うち 特定資産への充当額			0		0	
一般正味財産	103,556	102,307	▲ 1,249	95,489	▲ 6,818	
うち 基本財産への充当額			0		0	
うち 特定資産への充当額			0		0	
負債・正味財産の合計	1,232,204	1,253,686	21,482	1,282,023	28,337	

正味 財産 増減 計算 書	科目	平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	▲ 446	▲ 1,249	▲ 803	▲ 6,818	▲ 5,569
	経常増減の部	▲ 374	▲ 1,177	▲ 803	▲ 6,746	▲ 5,569
	経常収益	198,531	198,159	▲ 372	197,099	▲ 1,060
	経常費用	198,905	199,336	431	203,845	4,509
	評価損益等計			0		0
	経常外増減の部	▲ 72	▲ 72	0	▲ 72	0
	経常外収益			0		0
	経常外費用	72	72	0	72	0
	一般正味財産期首残高	104,002	103,556	▲ 446	102,307	▲ 1,249
一般正味財産期末残高	103,556	102,307	▲ 1,249	95,489	▲ 6,818	
指定正味財産増減の部	▲ 28,534	22,903	51,437	20,134	▲ 2,769	
指定正味財産増減額	▲ 28,534	22,903	51,437	20,134	▲ 2,769	
指定正味財産期首残高	1,143,406	1,114,872	▲ 28,534	1,137,775	22,903	
指定正味財産期末残高	1,114,872	1,137,775	22,903	1,157,909	20,134	
正味財産期末残高	1,218,428	1,240,082	21,654	1,253,398	13,316	

(※) 負の数の場合は、マイナス記号 (−) を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートII (財務諸表等)

区分		平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
キャッシュ・フロー計算書 (C/S)	事業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 50,050	13,665	63,715	20,307	6,642
	当期一般正味財産増減額	▲ 374	▲ 1,177	▲ 803	▲ 6,745	▲ 5,568
	キャッシュ・フローへの調整額	▲ 21,569	▲ 8,060	13,509	6,918	14,978
	指定正味財産増加収入	▲ 28,107	22,902	51,009	20,134	▲ 2,768
				0		0
				0		0
	投資活動によるキャッシュ・フロー	58,849	▲ 12,141	▲ 70,990	▲ 12,638	▲ 497
	投資活動収入	61,484	12	▲ 61,472	12	0
	投資活動支出	▲ 2,635	▲ 12,153	▲ 9,518	▲ 12,650	▲ 497
				0		0
				0		0
				0		0
	財務活動によるキャッシュフロー	0	0	0	0	0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
	現金及び現金同等物の増減額	8,799	1,524	▲ 7,275	7,669	6,145
	現金及び現金同等物期首残高	97,587	106,386	8,799	107,910	1,524
	現金及び現金同等物期末残高	106,386	107,910	1,524	115,579	7,669

(※1) 支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

(※2) 負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分		平成28年度期	平成29年度期	前期増減	平成30年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）		0	0	0	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）				0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）				0		0
委託料及び指定管理料		36,839	39,696	2,857	39,431	▲ 265
借入金（期末残高）		0	0	0	0	0
短期借入金				0		0
長期借入金				0		0
出資・出捐（期末時）				0		0
債務保証額（期末残高）				0		0
損失補償額（期末残高）				0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）				0		0
				0		0
				0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

1 貸借対照表に関する補足

（1）総括分析

投資有価証券（国債等）の期末時価の増加により金額が増加した。

（2）前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
現金・預金	資産の増加	年度末が休日のため支払が翌期に
基本財産	資産の増加	当期有価証券の期末時価の増加
未払金	負債の増加	年度末が休日のため支払が翌期に

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

（1）総括分析

復元船への乗船見学中止（及びドック棟立入禁止）措置により来館者が減少傾向にあったが、館内展示スペースの改装による展示の充実、スマートフォン向けWEBサイトの活用、お盆休み特別開館、復元船進水25周年記念イベント等を実施し、平成30年度の来館者は32,544人となり前年比658人（2.1%）増加した。

（2）前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
修繕費	修繕費の減少	復元船最小限度の修繕に抑える。
委託費	委託費の増加	館内展示スペースの充実

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

--

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位:円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等(指定管理含む)の状況

委託業務の名称	委託料(単位:円)	委託業務の内容
指定管理料	39,431,352	サン・ファン・バウティスタパークの管理運営

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位:円)	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法 人 名： 公益財団法人慶長遣欧使節船協会

担当部署名： 産業部観光課

1 第三セクター情報公開シートI（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

平成25年11月3日に再開館したが、平成28年3月より、復元船の老朽化のため乗船見学が中止となった。

通年で乗船見学ができない現状での入館者数・売上高が実績として把握できたことから中期的な視点で事業計画及び目標数値を定められたと考える。

（2）主要事業の成果、課題

今後も、宮城県慶長使節船ミュージアムと合わせて石巻市サン・ファン・バウティスタパークを活用し、相乗効果で来館者数の増加に期待したい。

また、復元船の老朽化による乗船見学中止により、集客面での課題はあるが、展望棟ロビーを活用した展示拡充や進水25周年記念イベントの開催、スマホWEBサイトの充実、VRコンテンツの制作等により、平成29年度と比較し、来館者数が増加した。

2 第三セクター情報公開シートII（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

特になし。

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

特になし。

(3)キャッシュフロー計算書

特になし。

(4)市による財政・金融支援等

石巻市サン・ファン・バウティスタパーク指定管理料として支出している金額であり、今後も年度協定で定められた指定管理料において適正かつ効果的・効率的な運営に努められたい。

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供し、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する目的を果たす上においても、市民が参加しやすい企画・イベント等の創意工夫を重ね、ひいては入館者数の増加につながるよう期待したい。

また、現サン・ファン・バウティスタ復元船ファイナルイベントについては、各関係団体と積極的に連携を図りながら、地域の振興に資する各種事業を実施し、東日本大震災からの再生・復興のみならず、歴史・文化・国際交流の観点から、更なる観光客の誘致を図り、地域の振興に寄与することを期待する。